28 年度事務事業評価表(一般用) 060200 2998-9201 事業コート 牛活闲窮者自立促進支援事業 生活福祉課 060201 部 課 クループ 保護担当 年度 開始年度 平成 年度 終了年度 2.7 自治事務 法定受託事務 事業の種別 法定受託+附加 根拠法令 分野別計画·指針 車 生活困窮者自立支援法 関連·類似事業 業 基本 <mark>総合計画の体系</mark> 章 健康·福祉 箭 社会保障 低所得者世帯への支援を行います 方針 σ 概 平成27年4月1日より、生活保護受給者以外の生活困窮者に対する支援の強化を図るために生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴い、 事業開始の背景 生活困窮者に対する支援を行うための所要の措置を講ずる必要が発生したことによる。 要 目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 生活保護に至る前の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給等の支援を行うことを目的とする。 対象(誰を、何を対象としているのか) 平成 26 年度 事 経済的に困窮し最低限度の生活を維持できないおそれがある者のうち、生活保護を受給して 対象数 単位 平成 27 年度 154,559 世帯 いない者。(学習支援事業については、所沢市で生活保護受給中の中学生が対象。) 業 事業の具体的な内容及び実施方法 の 「自立相談支援事業」 内 生活困窮にかかる複合的な問題に関する相談支援、事業利用にためのプラン作成等を行う。 「住居確保給付金」 容 離職により住宅を失った生活困窮者等に対し、有期で家賃相当の給付金を支給する。 「学習支援事業」 生活保護受給世帯の中学生を対象に学習支援を行う。 平成 年度 (千円) 平成 平成 会計種別 -般会計 26 年度 (千円) 年度 27 28 (千円) 予算現額 25.274 33.078 21.464 算 (見込み含む) 「財源内訳」について (非常勤特別職員) (臨時的任用職員 人) 人) 3.00 人) 0.00 人) 綒 平成28年度のみ、当初予算 正規職員人件費 人 0 0.40 人 3,464 の内訳となっています 事業費合計 0 24.928 禮 一般財源 0 9,198 33,078 国·県支出金 15,730 内 訳 その他(0 項目名 項目説明 単位 H 26 H 27 H28見込み 将来目標 自立相談支援事業延べ相 自立相談支援事業を利用した延べ相談 件 1,449 3,090 談件数 学習支援事業延べ参加者 件数 活動実績 学習支援事業に参加した延べ参加者数 人 392 400 结 数 単位 H 26 H 27 H28目標値 項目名 項目説明 将来目標 今年度自立相談支援事業延べ相談件数 目標値 100 相談件数増加率 成果指標 ・昨年度自立相談支援事業延べ相談件 % 成 □ <u>縮小図る</u> 宝 结 ☑ 拡大図る 集 目標達成状況 どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています 0/0 達成率 チェックしてください (1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください (2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析 菙 (平成27年度新規事業) 点 □ 拡大 □ 縮小 **✓** 継続 事業実施方法 生活困窮者の自立を助長する有効な事業であるため、 理由 (複数選択可) 改善· 現状 その □他 方今 ☑ 効率化 □ 終了 維持 向後 価 性の 生活困窮者の自立のための支援策として、継続して実施していく必要がある 現状 評 □ 拡大 □ 縮小 ☑ 次年度予算 理由 ため。 (1)平成28年度に取り組んでいる状況 (2)今後の方向性 佃 家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に 生活困窮者を支援していくことにより、生活の安定と自立の助長に寄与して 応じ、必要な情報提供や専門的な助言等を行う家計相談事業を実施している。 H28.8.19 生活福祉課長 荻野 評価日 評価者職氏名 規制を受ける環境法令等 無 有益な 有害な環境影響 環境影響 を及ぼす原因活動 緊急事態 無